

科目名	基礎看護Ⅴ (環境・活動・休息援助技術)				DP2 DP3 DP4 DP6		看護高等課程
学年	1 年	分野	専門 基礎看護 基礎看護技術	時間数	30 時間	担当教員	寺坂 和代
科目 概要	基礎看護技術として環境調整技術と共に、対象の生活の要素である活動・休息と健康の関わりを理解する。また、事故防止の基本的知識を通して、基本的欲求が充足できるよう科学的根拠に基づいた日常生活援助技術が安全に提供できるように、演習を多く取り入れた。 脳神経・筋の解剖生理と関連させ、「動く」生活行動へ結びつける。						
到達 目標	1. 健康的な日常生活を作り出す必要条件を説明できる。 2. 対象者の日常生活を見つめる看護の視点を述べるができる。 3. 対象者の日常生活への援助（環境・活動・休息）が実施できる。 4. 災害時の対応、誤薬防止、患者誤認防止、転倒転落防止について理解できる。						
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員
1～15	日常生活に対する援助		日常生活を援助する意義、日常生活行動と基本的欲求、日常生活行動と成長発達段階、ニーズの把握と日常生活の援助			講義 演習	寺坂
	環境調整の援助		環境とは何か、日常生活と住環境の基礎知識、生活環境の基礎知識、病床環境の調整、病床の整備、ベッドメイキング、リネン交換				
	環境調整の援助		環境調整の実際				
	活動と休息のための援助		活動を促す援助、休息を促すための援助、安静、睡眠				
	姿勢と移動		姿勢・動作とは、援助の基礎知識、看護におけるボディメカニクス				
	体位変換の援助		体位変換とは、体位変換の原則と援助の実際				
	移動・移送の援助		歩行介助、車いすによる移送、ストレッチャーによる移送				
	試験					試験	
評価 基準	下記評価方法によって 100 点満点とし 6 割以上を合格とする。また、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義演習への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。 また、演習の内容によっては、シミュレーション演習、パフォーマンス課題、ルーブリックに基づき、ポートフォリオの内容等も総合的に評価を行う。						
教科書	看護学入門 6 基礎看護Ⅱ 基礎看護技術 根拠と事故防止からみた 基礎・臨床 看護技術 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							